

平成24年度第1回林野庁入札等監視委員会 審議概要

開催日及び場所		平成24年6月7日(木曜日)林野庁本館会議室			
委員		前原一彦(公認会計士) 鍛冶良明(弁護士) 近田直裕(公認会計士、税理士)			
審議対象期間		平成24年1月1日～平成24年3月31日			
審議対象案件		16件	うち、1者応札案件4件 契約の相手方が公益社団法人等の案件3件		
抽出案件		5件 (抽出率31%)	うち、1者応札案件1件 (抽出率20%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件2件 (抽出率40%)		
抽出案件内訳	工事	一般競争	1件	うち、1者応札案0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件	
		指名競争	公募型指名競争	1件	うち、1者応札案1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件
			工事希望型競争	1件	うち、1者応札案1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件
			その他の指名競争	1件	うち、1者応札案1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件
			随意契約	1件	うち、1者応札案1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件
	業務	一般競争	1件	うち、1者応札案1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件	
		指名競争	公募型競争	1件	うち、1者応札案1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件
			簡易公募型競争	1件	うち、1者応札案1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件
			その他の指名競争	1件	うち、1者応札案1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件
			随意契約	公募型プロポーザル	1件
		簡易公募型プロポーザル		1件	うち、1者応札案1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件
		標準型プロポーザル		1件	うち、1者応札案1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件
		その他の随意契約		1件	うち、1者応札案1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件
		物品・役務等		一般競争	4件
			指名競争	1件	うち、1者応札案1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件
	随意契約(企画競争・公募)		1件	うち、1者応札案1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件	
	随意契約(その他)		1件	うち、1者応札案1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件	
	(特記事項) ・抽出の5件については、1者応札や契約金額が高かったの等を抽出した。				
	委員からの意見・質問、それに対する回答等		意見・質問		
			回答等		
		(詳細に記述すること。)	(詳細に記述すること。)		
		(別紙のとおり)	(別紙のとおり)		
委員会による意見の具申又は勧告の内容		該当なし			
[これらに対し部局長が講じた措置]		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>			

事務局:林野庁林政部林政課会計経理第1班

(注)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。)をいう。

	意見・質問	回 答
<p>委員からの意見 ・質問、それに対する回答等</p>	<p>工事関係 〔抽出番号1：森林技術総合研修所耐震工事〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競争参加者の資格の等級はA、B以外にあるのか。 ・予定価格を超えているが、入札時に評価をしているのか。 ・技術評価点の加算値の計算について、入札業者の2者とも配点合計の25点の半分に満たないが、これは低くても問題はないのか。 ・役務の契約で、技術評価点に差が開いて、価格点で逆転が難しい契約を記憶しているが、今回の工事の契約では、技術評価点に差がなく、入札価格が低ければ逆転が可能と思われるが、工事と役務の契約では違うところがあるのか。 ・今回の入札業者は2者であるが、予定価格も大きいことから業者の入札参加がもう少しあってもいいと思うが何か理由はあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・C、Dまでである。 <p>資料にあるのは、技術評価点の評価基準であり、入札前に行ったものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札参加業者の技術評価点を比較するための点数であるので問題はない。 ・予定価格が一定額以上の場合は、調査基準価格が設けられていて、役務の契約では予定価格の60%で、工事の契約の場合は、およそ90%になるので、この金額より入札価格が低ければ価格の調査を経て問題がなければ契約することになる。 ・落札した業者に確認したところ、全般的に耐震工事を行っている業者が少ないこと。震災復興の関係で、職人確保が難しいと伺っている。
	<p>物品・役務関係 〔抽出番号1：平成23年度安全な特用樹等の安定供給対策事業〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査の場所は福島周辺が多いのか。 ・この業者は福島の会社か。 ・他に業者はないのか。 ・どこの所管の財団か。 ・技術的にどこでもできるという調査ではないのか。 ・(62ページ等の)資料の出典が平成12年度のものであるが、これが最新のもののなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福島を中心に調査を行った。 ・九州の法人であるが、福島に拠点を設けて調査を行った実績を有する法人である。 ・1月の契約で3月が履行期限と期間が短いことや、多くの調査・分析を実施する必要があり、技術的に難しいとのことであった。 ・文部科学省である。 ・今回の調査の中では、空間線量の影響を考慮した明確な数値を出すために必要な煙の採取方法が技術的に難しいとの意見はあった。 ・緊急時における食品の放射能測定マニュアルについては、平成14年以降更新されていない。

<p>〔抽出番号2：平成23年度木材産業に係る放射性物質調査・解析事業〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約金額に変更があった理由は。 ・変更がない前提で入札されたのか。 ・変更があったとしたら他の2社はもっと高くなったのか。 ・問題なければ合理的なので変更契約の扱いになるのか。 ・そもそもの予定価格の範囲であるということではないということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1月に福島県の二本松市のマンションから、高濃度の放射性物質が検出され、その原因となった採石について、出荷基準の検討がなされる状況となった。木材についても出荷基準の必要性について検討をする必要があったが、基礎データが不足していたことから、緊急に追加調査をすることとしたものの、すでに本事業について広告をしていたため、変更契約を行った。 ・そうである。 ・入札結果からすればそのようになる。 ・調査の中心は福島県で行っており、調査内容としても放射性物質の調査ということで、落札した業者で変更契約を行うことが合理的だと考えた。 ・そうである。
<p>〔抽出番号3：「平成23年度国有林野事業業務研究発表」外6件の印刷製造業務一式〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暴力団排除の条項が入っているが他の契約にもあるのか。 ・先ほど製本された現物の一部を見たが、6万部作成してそんなに安くできるものなのか。 	<p>回答：すべての契約に入っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回入札にかけた印刷物は7種で6万部作成したものは、仕様書にもあるように白黒刷りで12ページとなっているので金額的には安くなっている。
<p>抽出番号4：「平成23年度国有林GIS高解像度衛星画像作成業務一式〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もともとある衛星画像を買うことになるのか。 ・衛星写真は絶えず撮っているものではないのか。 ・業者が衛星画像を撮っているところに頼むのか。 ・ストックがなければ、撮影を依頼するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受注者が該当する場所の画像のストックを持っているれば、新たに撮影する必要はない。 ・必ずしも必要とする場所が撮られているとは限らない。 ・そのとおり。 ・ストックがなければ受注者が必要な衛星画像を購入して用意しなければならない。

<ul style="list-style-type: none"> ・ここに業者が2社あるが、彼らが依頼するところは1カ所なのか。 ・入札価格はそれほど変わらないものになるのか。 ・落札率が97.1%であるが、予算額がわかるものなのか。 ・予定価格はどのように積算するのか。 ・今回の業者は普通の民間の会社なのか。 ・代理店的な仕事であれば、他のところも入札すると思うが、ノウハウが必要なことから代理店といってもそれほど入札できる業者は限られているのか。 ・ほぼ独占企業か。 ・過去の同じような業務も今回の業者が請け負っているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発注者が求めている衛星画像の分解能で撮影できる衛星を飛ばしているところは限られている。 ・入札結果では、ほぼ近い金額となっている。 ・衛星画像を撮影者から購入することから、ある程度価格は決まってくるものと思われる。 ・予定価格は見積りなどを参考に積算基準に従って決定する。 ・そうである。 ・多くはない。 ・ノウハウがあるところが参加する。 ・過去については調べていない。
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会としての意見はなし。 	